

今、高校生が考える生成AIとの付き合い方 —「誤情報・偽情報」を超えた活用法を考える—

開催地：新潟

グループ： 6班

2024.8.8

# 高校生のAIの使用状況

学校内: 英作文やレポートの生成の手助け(文章の構成など)や添削・学校行事のテーマ 決め

日常内: 課題のトピック集計・イラスト生成

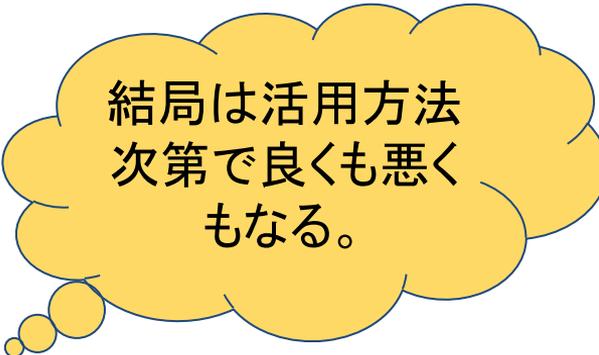
# AI使用時のメリット・デメリット

## メリット:

短時間で案や選択肢を提示させ、自分にはなかった表現や構想を得たり、自分の考え・答えを導くために活用する点で便利。

## デメリット:

- ①直接的な結論を得るために活用すると、自ら考える能力が衰える。
- ②偏た情報に執着してしまったり、誤情報を使うのみにしてしまいやすくなる
- ③人間の仕事を奪ってしまう可能性がある。



結局は活用方法次第で良くも悪くもなる。

# 今後の課題、対策

- ・AIに全てを任せっきりにしない
- ・偏った情報に執着しないために、情報を比較し、コミュニケーションを通じて判断する
- ・自分でよく考え、正誤判断をする、しっかりと調べる
- ・探究活動を積極的に行って、考える力を身に着ける
- ・専門的な知識を学び、身につける

## まとめ

AIは便利で身近なものになり、様々なものに活用されている一方、それにすぎると大きな問題が発生する。

AIを効率的に利用しつつも、AIに侵食されないように努めることが求められる。

そのために、スライド3枚目の項目を意識して**メディアリテラシー**を身につけることが大切！